



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第137号

発行:2017年9月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

事務長に就任して

～ 介護施設の現実と来年度の展望 ～

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 事務長 堀内 衛



今年4月より、阿久和鳳荘の事務長という大役を仰せつかりまして、その職責の重大さに戸惑っていましたが、半年が経ち順調に職を全うしております。以前は鵬友会本部で8年間勤務し、湘南泉病院・本郷クリニック・ほうゆう保育園の管理事務を行っていました。その前は民間の病院等で28年間勤務してまいりました。今回、介護施設勤務は初めて、見るもの聞くもの分からない事ばかりで職員にサポートして頂きながら日々勉強しております。

ここで施設の概要と特徴を紹介致します。平成6年に設立され、今年で23年目になります。入所定員は64名、通所定員は13名です。9月より認知症専門棟17床を廃止し、一般棟に戻しました。隣接する湘南泉病院との併設型であり、医療的要素の強い高齢者の受入れも積極的に行っており、入所者の皆様の疾病による急変にも速やかに対応しています。歌謡クラブ・書道クラブ・喫茶クラブ等のクラブ活動、納涼会や地域施設との交流行事も行っており、地域住民への介護情報の発信基地と考えております。

さて、阿久和鳳荘はここ数年収支が芳しくなく、その原因として、施設が設立してから20年以上が経ち老朽化による修繕が増えた事。また、冬場には肺炎等の感染症で入院される方が多くなり、その間ベッドが空いてしまいます。昨年は施設内でのインフルエンザ発生も2回あったそうです。打開策として入居者の見守りをより一層密にする事。面会者等からの感染に注意する。それでも入居者が多数入院

し、空床ができた場合は待機者がいれば積極的に受け入れる。介護職員の離職率も高く、採用は紹介会社等からの入職を余儀なくされています。以前本部在任中でも看護師・看護助手・保育士は人材不足と言われ苦労しましたが、介護も同じ状況にあると痛感しております。

国は2018年度「働き方改革」として非正規雇用の処遇改善等や子育て支援策などに重点配分としました。介護職のイメージ刷新として、介護職の魅力や社会的評価の向上を図るための広報活動に予算を計上、介護未経験の中高齢者を対象とした入門研修を創設する。今や特別養護老人ホームの赤字施設は3割を超え、職員の労働環境の改善や新たな設備投資を行う事が難しい状況にあります。

来年度は診療報酬・介護報酬同時改定です。今回もマイナス改定が予想されますが、老健協会は厚労省に介護報酬の引き上げを求めていくそうです。医療や福祉が切れ目なくサービスを受ける体制づくりを目指し「医療と福祉の一体」を強調し、診療報酬と介護報酬に何らかの連動があることが考えられます。当施設も極力影響を受けないよう連携を強化していきたいと思っております。

現在、介護職の退職やリハビリスタッフの減員で入所者や通所リハビリに通われている利用者や家族の方には大変ご不便をおかけしております。これから先、職員一丸となり皆様が笑顔で素晴らしい生活が送れるように努めるとともに地域に密着した施設を実現するように努力して参ります。

年間行事

～介護老人保健施設 阿久和鳳荘～

『介護老人保健施設 阿久和鳳荘』は、毎月の誕生日会やボランティアの方々の歌謡ショーをはじめ、春のお花見、夏の納涼祭、秋の敬老会、冬のクリスマス会など、一年を通じてさまざまな催しを実施しています。近隣の学生さんや園児さんとの交流も盛んです。

年間行事例								
1月	2月	3月	4月	5月	7月	9月	10月	12月
・七草粥 ・新年会 ・元旦（お節料理）	・節分	・ひな祭り	・春のお花見	・端午の節句	・納涼祭 ・七夕	・敬老会	・豚汁の会	・冬至（ゆず湯） ・クリスマス会

年間イベント紹介

【新年会】



1年の始まりは威勢よく餅をつき、獅子舞が登場します。

【節分】



赤鬼・青鬼に豆をまき、邪気を払い無病息災をお祈りします。

【ひな祭り】



ひな人形を飾り、記念撮影。

【お花見】



桜の季節にお花見をします。

【七夕】



短冊に願いを込めて飾ります。

【納涼祭】



和太鼓の演奏、企画ゲームで盛り上げられます。

【敬老会】



園児の皆さんとお祝いします。

【豚汁の会】



職員お手製、豚汁が振る舞われます。

【クリスマス会】



職員のハンドベル演奏で盛り上げます。